

図書館だより

No. 81

🦉 11月・12月の開館予定です（変更になることもあります）

日	月	火	水	木	金	土
9 休館	10 正○ 共◎	11 正○ 共◎	12 正○ 共◎	13 正○ 共◎	14 正○ 共◎	15 共△ 中・入試
16 休館	17 正○ 共◎	18 正○ 共◎	19 正○ 共◎	20 正○ 共◎	21 正○ 共◎	22 休館
23 休館 勤労感謝の日	24 休館 振替休日	25 正○ 共◎	26 正○ 共◎	27 正○ 共◎	28 正○ 共◎	29 休館
30 休館	12/1 正○ 共◎	12/2 正○ 共◎	12/3 正○ 共◎	12/4 正○ 共◎	12/5 正○ 共◎	12/6 休館
12/7 休館	12/8 正○ 共◎	12/9 正○ 共◎	12/10 正○ 共◎	12/11 正○ 共◎	12/12 正○ 共◎	12/13 休館 中・入試

開館時間

正（正道館学習室） 共（共生図書館）

〇7:00~17:00 ◎9:00~19:30 △8:30~17:00

🦉 読書習慣

人気ビジネス書『科学的に証明されたすごい習慣大百科』によりますと、静岡大学の調査データでは「一日10分以上の読書をする生徒は、ほとんど読書をしない生徒より学力が高くなる」傾向がみられたそうです。

たかが10分、されど10分、侮れませんね。

👑 ノーベル生理学・医学賞受賞・坂口志文さん

坂口さんは琵琶湖にも伊吹山にも自転車で行けるような自然に囲まれた環境で育ちました。少年時代は「子ども向けの文学全集」などを読んでいたそうです。父が校長を務めていた地元の高校に進学。その父の影響で哲学に傾倒する一方、精神科医**ビクトール・フランクル**の『夜と霧』を読み精神医学に興味を持ちます。親戚に医師が多かったため、京都大学医学部に入り、そこで出会ったのが免疫学です。

自分を守るだけでなく、自分を攻撃する事もある「二律背反的でおもしろい」と、のめり込みました。

📖 『夜と霧』読んでみませんか？

作者自身がナチスの強制収容所で経験した過酷な状況を心理学的な視点から分析した記録です。この本は極限状態の中で人間がどのように生きる意味を見出し、希望を持ち続けることが出来るのかを考察しています。

終盤、著者が行き着いた「生きる」ということの真の意味を表した思い・言葉に心がふるえる1冊です。

👑 ノーベル化学賞受賞・北川進さん

10/8の記者会見において研究の苦労と喜びを語り、その中で読書を通して得た信念が研究の日々を支えたと言っています。開発したのは金属有機構造体という多孔性の材料でした。着目したきっかけは学生時代に読んだ書籍にあった**老荘思想**の「無用之用」（役に立たないように見えるものも実は役に立つ）という考えでした。

中学生の頃から読書が趣味だった北川さんは進学した京都大学工学部の1年生の時、**湯川秀樹博士**の『天才の世界』シリーズの3冊を続けて読みました。その中に老荘思想の「無用之用」が紹介されておりました。読書体験を通じて「何もないものにも意味があるという見方にとっても大きな影響を受けた」と話しています。

北川さんの半生は、**良書との出会い**が節目にありました。科学を好きになったのは中学生の頃、同級生が読んでいたSF小説がきっかけだそうです。自分も図書館で科学の百科事典を借りて読みこむようになったと言います。

📖 新着本『今日はきのうのつづき どこからかことばが』（谷川俊太郎・著）・・・さいごに遺した詩を含む47篇
目が覚める 庭の紅葉が見える
昨日を思い出す まだ生きてるんだ （「感謝」からの抜粋）

■ 今月のNewton情報(2025/12月号)

特集「大量絶滅のミステリー」 巨大火山がもたらした絶滅と進化

生命に大打撃をあたえた5回の大量絶滅「**ビッグファイブ**」について、原因となった火山活動とともに解説しています。東京上野の国立科学博物館での、11月から開催の生命の歴史をたどる特別展「**大絶滅展**」のみどころも満載です。